

令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人持続可能な社会基盤研究会

1 事業の成果

日本版サステナブル・コンストラクションを確立し、持続可能な社会を実現するために①安心して生活できる社会基盤を創り上げる、②社会基盤を長く快適に利用できるよう長寿命化する、③建設事業の環境負荷低減を推進する、④建設産業の事業変革を支援する、ことをミッションとしている。

本年度は、これらミッションを達成するために「持続可能な社会基盤をテーマとした研究事業」及び建設事業関連の顧客から依頼された「ミッションに関連する技術開発等への支援」を実施した。

日本では2030年にSociety4.0の「情報化社会」からSociety5.0の「超スマート社会」に変化することが内閣府から公表されており、今後、社会が求めるものも変化することが予想される。この変化に対応すべく、製造業を中心に「モノを作るだけでなくサービス化」へと事業変革に取り組んでいる。建設産業もゼネコンを中心にオープンイノベーション等事業変革への取り組みが始まっている。

ミッションを達成するための研究事業として、前年度に引き続き、今後建設投資が増える分野である「維持管理・更新分野」「防災・減災分野」に必要とされる技術を検討した。また、2050年には国際公約としてカーボンニュートラルが求められることから、その一環として「コンクリート分野の脱炭素」への検討を実施した。

また、前年度に引き続きプレストレスト・コンクリート事業者からの依頼により、施工技術のスキルアップ指導を現地で実施した。ひび割れ等の欠陥を防止することで構造物の長寿命化に貢献することを目的としている。

いずれも、当法人の4つのミッション実現につながっていることから、次年度以後も取り組んでいく計画である。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
持続可能な社会基盤に関する研究事業	研究事業として主に以下のテーマで実施した。 ・インフラ施設の長寿命化 ・インフラ施設の安全防災 ・カーボンニュートラル他 新型コロナの影響で、全研究員が在宅となり、ミッション達成するための会員全体での研究会実施が難しいことから、少人数での研究会となった。	通年	事務所	39	不特定多数 (社会基盤施設管理者、建設産業関係者、教育機関関係者など)	2,033,193

学術機関への研究助成事業	今年度は実施していない。	—	—	—	—	—
「日本版サステイナブル・コンストラクション」に寄与する技術への支援事業	富士ビー・エスからの依頼で高耐久性 PC 構造物にするための技術支援を実施。今年度は、国道 18 号上田バイパス跨道橋工事、PC 斜材付き π 型ラーメン橋建設工事を対象に現地検討会を実施した。	事業依頼者の指定日	事務所 依頼者現場	45	事業依頼者 施設管理者 建設業など	944,060

(2)その他事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	事業の金額 (千円)
建設資材の物品販売、仲介事業	今年度は実施していない	—	—	0	0
建設関連コンサルティング事業	今年度は実施していない	—	—	0	0

令和4年度 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人持続可能な社会基盤研究会

(単位:円)

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他事業	合 計
I 経常収益			
1 受取会費	0		0
研究員として参加	0		0
賛助会員受取会費	0		0
2 受取寄附金	2,928,000		2,928,000
受取寄附金	0		0
施設等受入評価益	1,200,000		1,200,000
ボランティア受入評価益	1,728,000	—	1,728,000
3 受取助成金等	0		0
受取補助金	0		0
4 事業収益	1,320,000		1,320,000
(1) 施工技術のスキルアップ	1,320,000		1,320,000
5 その他収益	100		100
受取利息	100		100
経常収益計	4,248,100	0	4,248,100
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費		—	
給料手当	0		0
ボランティア評価費用	1,512,000		1,512,000
人件費計	1,512,000	0	1,512,000
(2) その他経費			
会議費	154,013		154,013
研究会参加費	301,400		301,400
顧客検討会参加費	122,280		122,280
出張旅費	269,520	—	269,520
原稿執筆料	0		0
委員会等参加費	28,000		28,000
印刷製本等外注費	590,040		590,040
寄附金	0		0
その他経費計	1,465,253	0	1,465,253
事業費計	2,977,253	0	2,977,253
2 管理費			
(1) 人件費		—	
給料手当	0		0
ボランティア評価費用	216,000		216,000
人件費計	216,000	0	216,000
(2) その他経費			
施設等評価費用	1,200,000	—	1,200,000
通信運搬費	0		0
レンタルサーバー	95,480		95,480

消耗品費	9,476		9,476
減価償却費	0		0
旅費交通費	0		0
名刺その他	14,184		14,184
その他経費計	1,319,140	0	1,319,140
管理費計	1,535,140	0	1,535,140
経常費用計	4,512,393	0	4,512,393
当期経常増減額	▲264,293	0	▲264,293
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	▲264,293	0	▲264,293
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産			11,851,846
次期繰越正味財産 (内未収金 0)			11,587,553

令和4年度 貸借対照表

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人持続可能な社会基盤研究会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	11,587,553		
未収金	0		
流動資産合計		11,587,553	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両等運搬具	0		
パソコン等・什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他資産			
投資その他資産計	0		
固定資産合計			0
資産合計			11,587,553
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
流動負債合計			0
2 固定負債			
長期借入金	0		
その他	0		
固定負債合計			0
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		11,851,846	
当期正味財産増減額		▲264,293	
正味財産合計			11,587,553
負債及び正味財産合計			11,587,553

令和4年度 計算書類の注記

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人持続可能な社会基盤研究会

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

(1)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受け入れは、活動計算書に計上しています。また、計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受け入れの内訳」に記載しています。

(2)ボランティアによる役務の提供を受けた場合の会計処理

ボランティアによる役務の受け入れは、活動計算書に計上しています。また、計上額の算定方法は「3. ボランティアによる役務の受け入れの内訳」に記載しています。

(3)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

科目	持続可能な社会基盤の研究	技術支援	事業部門計	管理部門計	合計
		施工のスキルアップ支援による長寿命化			
I 経常収益					
1. 受取会費	0	0	0	0	0
2. 受取寄付金	702,000	810,000	1,512,000	1,416,000	2,928,000
施設等受取評価	0	0	0	1,200,000	1,200,000
ボランティア受取評価	702,000	810,000	1,512,000	216,000	1,728,000
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0
4. 事業収益	0	1,320,000	1,320,000	0	1,320,000
5. その他収益	0	0	0	100	100
経常収益計	702,000	2,130,000	2,832,000	1,416,100	4,248,100
II 経常費用					
(1) 人件費					
給料手当	0	0	0	0	0
ボランティア評価費用	702,000	810,000	1,512,000	216,000	1,728,000
人件費計	702,000	810,000	1,512,000	216,000	1,728,000
(2) その他経費					
会議費	154,013	0	154,013	0	154,013
研究会参加費	301,400	0	301,400	0	301,400
顧客検討会参加費	100,000	22,280	122,280	0	122,280
出張費	157,740	111,780	269,520	0	269,520
原稿執筆料	0	0	0	0	0

委員会等参加費	28,000	0	28,000	0	28,000
減価償却費	0	0	0	0	0
作成製本印刷費	590,040	0	590,040	0	590,040
書籍購入費	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0
レンタルサーバー	0	0	0	95,480	95,480
施設等評価費用	0	0	0	1,200,000	1,200,000
消耗品費	0	0	0	9,476	9,476
その他(寄付金等)	0	0	0	14,184	14,184
その他経費計	1,331,193	134,060	1,465,253	1,319,140	2,784,393
経常費用計	2,033,193	944,060	2,977,253	1,535,140	4,512,393
当期経常増減額	▲1,331,193	1,185,940	▲145,253	▲119,040	▲264,293

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

内容	金額	算定方法
法人事務所の無償利用	1,200,000 円	事務所の所在地である赤坂周辺で同規模のレンタルオフィスを借りるとほぼ 10 万円/月であることに準じています。

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

内容	金額	算定方法
研究及び調査員 96 人	1,728,000 円	単価は当法人の規定に従って、18,000 円/人・日であることに準じています。

その他、「使途等が制約された寄付金」、「固定資産」、「役員及び近親者との取引」、「その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項」については、発生していません。

令和4年度 財産目録

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人持続可能な社会基盤研究会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	11,587,553	
手元現金	7,120	
銀行普通預金	11,580,433	
未収金	0	
流動資産合計		11,587,553
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
車両等運搬具	0	
パソコン等什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他資産		
投資その他資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		11,587,553
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
金融機関からの短期借入金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
金融機関からの長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		11,587,553

**令和4年度 役員名簿及び
役員のうち報酬を受けたことがある者の名簿**

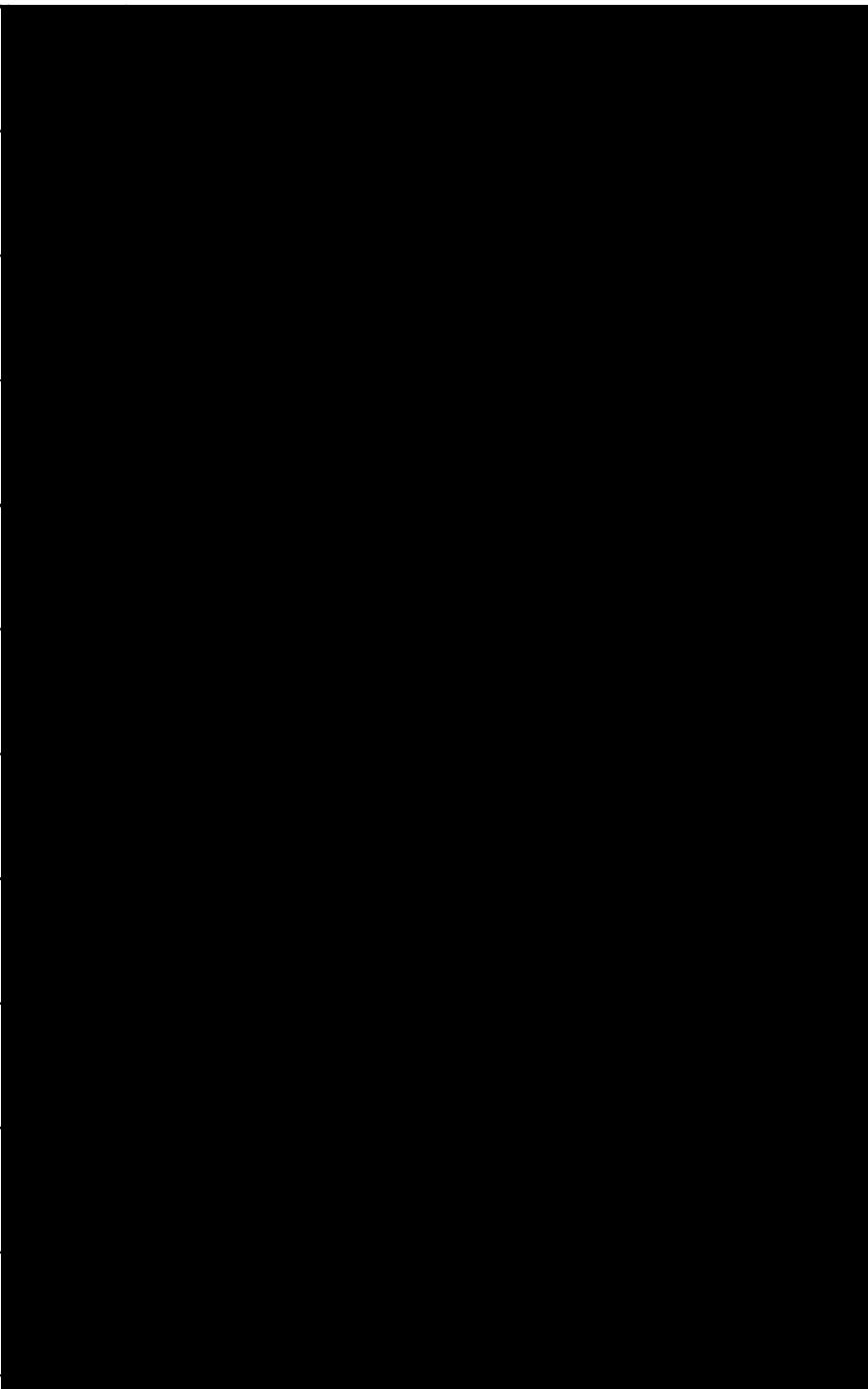
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人持続可能な社会基盤研究会

役名	氏名		就任期間	報酬を受けた期間
理事	辻 幸和		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	無報酬
理事	横沢 和夫		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	無報酬
理事	安藤 哲也		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	無報酬
理事	勝又 正治		令和4年5月20日 ～ 令和5年3月31日	無報酬
理事	鈴木 康範		令和4年5月20日 ～ 令和5年3月31日	無報酬
監事	万木 正弘		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	無報酬

社員のうち10人以上の者の名簿

特定非営利活動法人持続可能な社会基盤研究会

	氏名	
1	天野 光一	
2	安藤 哲也	
3	小山 純子	
4	勝又 正治	
5	鈴木 康範	
6	辻 幸和	
7	福手 勤	
8	安田 登	
9	万木 正弘	
10	横沢 和夫	
11		